

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 福山鑄造株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒714-0048 岡山県笠岡市緑町3番2	
本票作成	部署名：製造部				
主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業		
事業の概要	銑鉄鑄物製造業（鑄鉄管，可鍛鑄鉄を除く） 従業員：約80人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	笠岡工場		岡山県笠岡市緑町3番2	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      1    所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

計画期間	平成 28 年度                      ~                      平成 29 年度                      ( 2 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 2.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 27 年度)			目標年度 (平成 29 年度)					
	9,995 t CO <sub>2</sub>			9,822 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 27 年度) の排出量					
	①	笠岡工場		9,995 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 総溶湯量(t)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.754 t CO <sub>2</sub> / ( t )	0.739 t CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 27 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

1. 初回品の持ち湯重量は、三次元CADにて計算した値を指示する。(現場は残り湯を報告する)
2. 極力凝固シミュレーションを活用して歩留まりを向上させる。
3. 繰り返し部品の法案再検討及び現状分析をする。
4. その他の削減見込みとして、断熱化、インバーター化、LED化等ハードウェアの更新を進める。
5. 製品総重量/溶湯量で歩留まり向上をはかる。2%改善目標。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ・社内に不良率低減委員会を設置し、不良率の低減努力を継続している。
- ・毎月省エネ委員会を開催し、情報交換をしている。
- ・省エネ診断（3法人）の結果を生かして、出来ることから実施していく。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
笠岡工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受電力率改善（大幅な負荷変動でもたえず100%になるよう受電力率の自動コントロールシステムの採用と負荷末端受電設備のS C設置</li> <li>・エアーコンプレッサーのインバーター方式の採用（7台の内2台）</li> <li>・古いタイプの電気炉を設備更新</li> <li>・自家発電設備を休止し、全量買電にシフト</li> <li>・労働時間の短縮、夏場は土曜出勤・月曜休日の振替勤務</li> <li>・昼休みは事務所の照明消灯励行</li> <li>・一部の乾燥炉の断熱化</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
笠岡工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥炉の断熱化</li> <li>・冷却水ポンプのインバータ化</li> <li>・照明設備のLED化</li> <li>・エアコン設備の劣化更新</li> <li>・事務所蛍光灯の間引き</li> <li>・エアーコンプレッサの劣化更新、管理の強化</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・目標値は、景気動向で大きく変化するため、過去の実績よりの推察値です。